

科目責任者	畑澤 裕子、宗宮 朋子、澤元 互、リースナー・フランク			
授業担当者	A組 1班：澤元 互、	A組 2班：宗宮 朋子		
	B組 1班：リースナー・フランク、	B組 2班：澤元 互		
	C組 1班：宗宮 朋子、	C組 2班：畑澤 裕子		

■教育目的（各クラス共通）

新しい外国語との出会いは、新しい世界との出会いを意味します。それはさまざまな発見に満ち、私たちの知的好奇心を大いに刺激してくれます。また、外国を知ることによって日本という国を改めて理解し、自分のこれまでのものの見方や考え方、感じ方を問い直す契機にもなるでしょう。

ドイツ語は、母国語としてドイツ、オーストリア、スイスなどの国々だけでなく、東欧諸国でも広く通用し、ヨーロッパではロシア語に次いで多く話される言語です。ヨーロッパのほぼ真ん中に位置するドイツは9つの国々と国境を接していますが、言語や文化を異にする国々が、どう互いに平和的に共存し繁栄しうるのが、ヨーロッパ共同体（EU）が取り組んでいる壮大な試みに世界が注目していますが、その牽引力としての役割をドイツは果たしています。

明治以来、日本はドイツから多くを学び、近代化を成し遂げました。医学・薬学や物理、化学など、特に近代科学の分野での日本の発展は、ドイツとの関わり抜きには語れないものです。これからの日本が進むべき道筋を考える上でも、ドイツなど、ヨーロッパ諸国の歩みは重要な道しるべとなるにちがひありません。

ドイツ語を楽しく学びながら、世界の情報を少しでもより客観的に捉えられるよう、自身の言語理解力、コミュニケーション能力を高めていきましょう。

■学習到達目標（各クラス共通）

1. ドイツ語の発音を学び、やさしい文章を音読できる。
2. 初歩の基本文法を学び、ドイツ語のアウトラインを理解する。
3. 基本語彙と基本文例に慣れ親しみ、簡単な日常会話力を養う。
4. 辞書を使って、平易な文章が読める力を身につける。
5. ドイツやヨーロッパの文化や社会生活などを知り、日本と比較しながら、幅広い視点を養う。

■授業内容

A組 1班 澤元 互

教科書の前半を扱います。（後半は、後期科目「ドイツ語基礎」で引き続き学びます。）この授業ではドイツ語文法の基礎的な事項を学習します。

また、練習問題をこなすことで文法事項の定着をはかります。さらにドイツの日常文化をテーマとした平易な文章や会話を練習することで、ドイツ語表現の理解を深めるとともに、学習をつうじて異文化への関心を高めることを目指します。

[No.1~2] 導入、アルファベットと発音、挨拶

[No.3~5] 第1課：動詞の現在人称変化 (1)

[No.6~7] 第2課：動詞の現在人称変化 (2)、並列接続詞

[No.8~10] 第3課：名詞の性と格・冠詞の変化

[No.11~12] 第4課：複数形、人称代名詞

[No.13~15] 第5課・第6課：冠詞類・不規則動詞・命令形

準備学習（予習・復習）：予習：辞書を引いてわからない単語を調べる（60分）／復習：基本文例の暗唱

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：原則として期末試験（100%）で判定します

教科書：『パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール』 上野成利 他著（白水社）

参考書：独和辞典（電子辞書可）授業で使用します

A組 2班 宗宮 朋子

（教科書の前半を扱い、後半は後期科目「ドイツ語基礎」に引き継ぐ）

この授業ではドイツ語の基礎文法を作文問題などで確認します。また、ドイツ語で書かれた簡単な文章を読み、その内容についてドイツ語で答える練習もします。これらの演習を通して、ドイツ語の文法事項の定着を図り、読解力を養うことを目指します。

[No.1~2] 発音のあらまし、1課：発音、動詞の現在人称変化 (1) sein 動詞

[No.3~5] 2-3課：動詞の現在人称変化 (2) 過去形、命令形

[No.6~8] 4-5課：冠詞、人称代名詞 再帰代名詞・再帰動詞

[No.9~11] 6課：前置詞、非人称動詞

[No.12~15] 7-8課：形容詞、疑問詞、数詞 接続詞と従属節

準備学習（予習・復習）：予習：前回の授業までに出てきた単語および文法項目を暗記しておく。／復習：宿題をしながら、授業で新しく学んだ単語および文法項目を整理しておく。

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説

明をする。学期末試験の成績（90%）、出席状況および授業態度（10%）で総合評価する。

教科書：『独検にも役立つドイツ文法』 荻野, Raab 著（朝日出版社）

参考書：独和辞典（電子辞書可）

B組 1班 リースナー・フランク

前期（ドイツ語入門）と後期（ドイツ語基礎）あわせて、ドイツ語の文法をひと通り学習します。ドイツ語の読解・コミュニケーションのための基礎的な文法力を養います。ドイツの生活や習慣にも触れながら、テキストの文法問題、聞き取りや読みの練習でドイツ語の語彙を増やします。

[No.1~2] 導入、アルファベットと発音ドイツ語の発音、数詞、挨拶

[No.3~4] 第1課：動詞の現在人称変化・定動詞の位置

[No.5~7] 第2課・第3課：不規則変化動詞・冠詞（1格）・数詞

[No.9~10] 第4課：名詞の性・定冠詞と不定冠詞・代名詞

[No.11~13] 第5課・第6課：名詞の複数形・20以上の数、人称代名詞の3格と4格

[No.14~15] 第7課：前置詞・前置詞と定冠詞の融合形

準備学習（予習・復習）：予習：辞書を引いてわからない単語を調べる（30分）／復習：宿題をしながら、授業で新しく学んだ単語および文法項目を整理しておく。（30分以上）

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や定期試験に関する質問等を受け付け、その指導をする。【成績評価方法】期末試験（80%）、授業意欲（20%）で総合評価する。

教科書：『ANFANG』 矢羽々崇、リースナー・フランク 著（第三書房 2014年）

参考書：独和辞典（電子辞書可、指定したスマートフォンアプリケーション可）

B組 2班 澤元 互

教科書の前半を扱い（後半は後期「ドイツ語基礎」で学習）、単語や短い文を発音しながら、ドイツ語の音と表現に慣れ、基本的なドイツ語の構造を理解することを目指します。練習問題で文法事項を確認しながら進めていきます。新しい言葉の習得には、なんといっても繰り返し大切です。テキスト付属のCDは、授業時以外にも聞いて、発音練習や復習に役立ててください。

[No.1~2] 導入、アルファベットと発音

[No.3~4] 第1課：動詞の現在人称変化

[No.5~8] 第2課：名詞の性と格、複数形、冠詞、人称代名詞

[No.9~10] 第3課：動詞の不規則変化、命令形

[No.11~12] 第4課：冠詞類の変化

[No.13~15] 第5課・第6課：前置詞、形容詞の格語尾

準備学習（予習・復習）：予習：教科書の説明に目を通しておく／復習：基本文例の暗唱

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：原則として期末試験（100%）で判定します

教科書：『プレーミアエ ドイツ語総合読本』 神竹道士 他著（白水社）

参考書：独和辞典（電子辞書可）授業で使用します

C組 1班 宗宮 朋子

（教科書の前半を扱い、後半は後期科目「ドイツ語基礎」に引き継ぐ）

この授業ではドイツ語の基礎文法を学びます。問題演習を通して文法事項の定着を図り、様々なタイプの文章を理解できるようになることを目指します。

[No.1~2] 発音、1課：つづりと発音、主語となる人称代名詞／動詞の現在人称変化（1）

[No.3~5] 2-3課：名詞と冠詞／疑問詞、動詞の現在人称変化（2）／命令形

[No.6~8] 4-5課：名詞の複数形／冠詞類の格変化／人称代名詞の格変化、前置詞の格支配／接続詞と副文

[No.9~11] 6-7課：形容詞の格変化／形容詞の名詞化／副詞、形容詞の比較

[No.12~15] 8課：動詞の3基本形／過去人称変化

準備学習（予習・復習）：予習：前回の授業までに出てきた単語および文法項目を暗記しておく。／復習：宿題をしながら、授業で新しく学んだ単語および文法項目を整理しておく。

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。学期末試験の成績（90%）、出席状況および授業態度（10%）で総合評価する。

教科書：『OK ドイツ語文法読本』 小塩, 小錠著（三修社）

参考書：独和辞典（電子辞書可）

C組 2班 畑澤 裕子

教科書の前半を扱い（後半は後期「ドイツ語基礎」で学習）、単語や短い文を発音しながら、ドイツ語の音と表現に慣れ、基本的なドイツ語の構造を理解することを目指します。練習問題で文法事項を確認しながら進めていきます。新しい言葉の習得には、繰り返しが大切です。テキスト付属のCDは、授業時以外にも聞いて、発音練習や復習に役立ててください。

[No.1~2] アルファベットと発音、挨拶

[No.3~5] 第1課：動詞の現在人称変化 1

[No.6~7] 第2課：動詞の現在人称変化 2

[No.8~12] 第3, 4, 5課：冠詞の変化、複数形

[No.13～15] 第6課：動詞の人称変化 3、命令形

準備学習（予習・復習）：予習：教科書の説明に目を通し、新しい単語を調べる（30分）／復習：新しく学んだ文法と単語を自分なりに整理しておく（30分以上）

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、説明をする。【成績評価方法】期末試験（80％）、小テスト（20％）で総合評価する。

教科書：『ゲナウ！レーゼン』 新倉真矢子 他 著（第三書房）

参考書：独和辞典（電子辞書可）授業で使用します